

「つながり学習」の話

2021・10・11 校長 重枝一郎

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」(学院聖句) この言葉を人と多く関わる学校という場所において、何回も何回も自分の身体を通して、学んでいきます。(入学式式辞より)

私は、コロナ禍の中でいろいろな心配や不安な気持ちと、何とか学校生活の日常のルーティンを確認し生徒に二度とない青春時代を充実させたいという気持ちというジレンマがある中、みなさんの行事なども延期や縮小を余儀なくされました。ただ、本校はできる限り日常の学校生活ルーティンを維持し、生徒同士の「つながり学習」で成長を促していきたいと考えています。このような状況は人の「弱さ」と「強さ」を浮かび上がらせます。先が見通せないために不安に駆られ、他者に悪影響を及ぼす行動をしてしまう「弱さ」・・・また、今自分にできることを考え、実行し、さらには社会に貢献しようとする「強さ」・・・私自身、自分に問う毎日でもあります。

その一つが、先月行った女学院祭になります。当初は、実施は難しいのではないかといい声も当然ありました。そんな中、生徒会長と学祭実行委員長の二人が校長室に訪ねてきました。「なんとか実施できないか」「有志の演目も入れられないか」という話でした。私は、代表の二人に「なぜしたいのかという理由、そして、もしそのことを反対する人がいたら、その反対する人たちが考えている理由をレポートし、その上で生徒会としての考えをつくってきなさい」と言い、そのレポートを宿題にしました。数日後、今度はもう一人生徒会役員と一緒に三人で再び校長室を訪れ、その宿題について私に説明をしました。私は、その考えを支持し、文化部発表会的な縮小した行事になりましたが、先生方と話し実施を決めました。私は、この思考のプロセスはとても大事だと考えています。今、ジレンマ的(自分の考えと反対の考えの考え方も正論)な状況の中で、大事になるのは、**違う立場の意見の理由も言えた上で、自分の考えをつくること**だと思います。実際、様々なことに配慮した学祭ができたと思います。特に印象的だったのは、様々な注意事項の動画を作成し、強制性はあるもののそれを感じることなくルールを守らせたことです。それを生徒が主体的に行動したことです。素晴らしいと思いました。

文化部のステージ発表はとてもかっこよく感動しました。また、みなさんも私と同様に思っていたと思いますが、美術部が作成した学祭のポスターがとてもかっこよく、多くの市民のみなさんに見てもらいたいと思いました。当然私はそのポスターのファンになりました。そして、この学祭を通して、またより一段と生徒のみなさんのファンにもなりました。

このようにこれまでの取組が、これまでと同様にできないという現実を経験中ですが、そういう新しい環境に対応したモデルはどこにも存在しません。私たちは、つながっている誰かに伴走しながら、目標をつくり、カリキュラムを生み出す試行錯誤を続けることが大事だと思います。時には、前例のない、また、前例にとらわれない取組をすることもあると思います。その結果、みなさんは「強さ」を身に付け、生徒の豊かな人生の1ページをつくっていきと思っています。

総じていうと、これからの社会で、みなさんに求められているのは「異質とつながる力」です。

学校と社会、教室と家庭、教科と教科、学校と学校、そして先生とみなさん、みなさんとみなさん・・・すべて異質です。異質なもの同士の境界には、新しい社会・人生を開く活力の源が潜んでいます。そして、その活力の源を表出させるには、「つながる」ときに、心理的な壁を越えて近づかなければならないということです。新しい場所、新しい出会いを求めて自ら扉をたたき、お互い学び合い、お互い認め合う関係をつくらなければならないのです。

学校は、共に学び、成長するところです。そして、その成長を喜び合える関係をみんなで作るところなのです。これが、本校が大切にしている「大切なひとり」という言葉の本質につながると思います。このことをみなさんは身体の中に何回も何回も通して、掴んだことを離さないようにしてほしい。

◆「つながり学習」の考え

(1) つながりの気づく（クラスや部活動等での小集団の中で）

みなさんがつながり学習の対象に対して、自分とのつながりを見出し、内発的な動機付けや課題意識をもつ段階。

(2) つながりに向き合う（学年・学校行事などの中で）

課題への取り組みを通して、自らのつながりのあり方を振り返り、よりよいつながり方を模索する段階。

(3) つながりを求める（入試等を含む学校外とのかかわりの中で）

つながりの対象とのつながりを深めたり、新たなつながりをつくったりしようとする段階。

